

目的 低蛋白栄養状態でラットを継代飼育し、これらの動物の継代代数経過に伴う成長速度、摂食量等の変化及び低蛋白継代が寿命に及ぼす影響について観察した。

方法 初代動物は日本クレアより購入した3週令の雌雄のWistar系ラットで、低蛋白食として7% casein食を与えて飼育・継代した。これらの動物の雄ラットについて低蛋白食1.6及び8代目動物(各々L₁, L₂, L₃群)の体重及び摂食量の測定を行い、又、生涯観察を行って20% casein食を与えた対照群雄ラット(C群)と比較した。

結果 7% casein食で継代飼育したラットの成長速度はC群に比べて遅れるが、その遅れはL₁即ち初代動物に比べてL₃群で著しかった。その後さらに継代を重ねると幾分回復傾向がみられ、L₃では初代動物に近い成長速度であった。12週令時の尾長、摂食量共に同傾向を示したが、寿命は成長速度と逆比例の傾向を示し、12週令時の体重増加量が最も低値を示したL₃群で最も長い傾向であった。